

10 - 6 トルコ北西部の地震の発生について

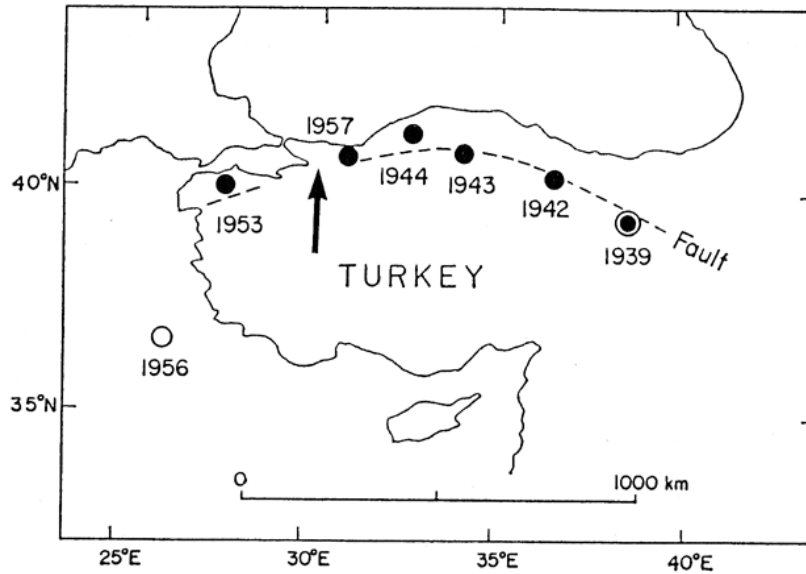
On the large earthquakes in the northwestern Anatolia in 1999

日本大学 茂木清夫
Nihon Univ. Kiyoo Mogi

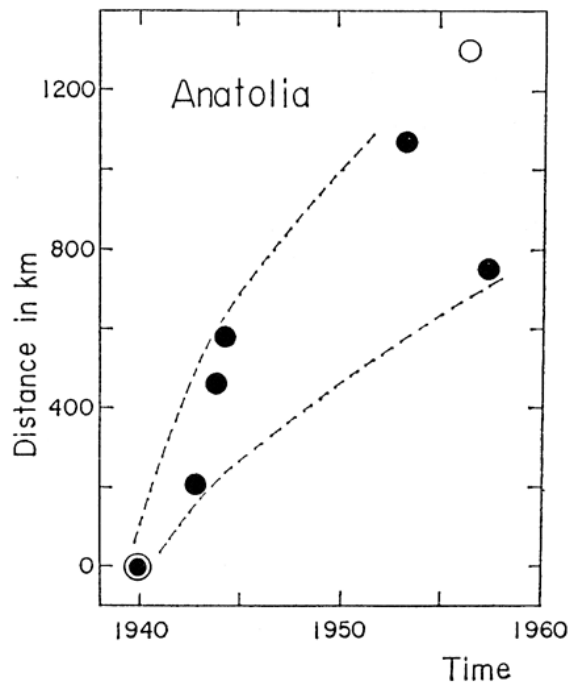
今回の地震は長期的に予想されていた所で起こったという点で注目される。1939年のエルジンジャン地震（M8.0）につづいて、北アナトリア断層に沿って次々とM7以上の大きい地震が移動しながら起こった。この傾向が見られることは早くから Pamir and Ketin(1941), Ketin and Roesli(1953), Richter(1958)によって注目されていた。筆者は地震の長期予測の立場から地震活動の移動性に注目して日本の地震を調査し、このアナトリアの地震の移動状況についても報告してきた（Mogi, 1968年, 1993年）。アナトリアの西方への移動は速度を落としながら進行し、今回の地震発生となった。さらにその西方でも地震が起こって居り、今回の地震が起こった所は丁度地震空白域として近年特に注目されていた所である。今回の地震の発生は隣接部の地震が1967年に起こったことから、地震予知のためには長期的なとりくみが重要であることを教えている。

参 考 文 献

- Ketin, I. and F. Roesli, 1953, *Eclogae Geol. Helvetiae*, 46, 187-208.
Mogi, K., 1968, *Bull. Earthq. Res. Inst.*, 46, 53-74.
Mogi, K., 1993, *Continental earthquakes*, IASPEI Pub. Ser. IDNDR, Vol.3, 31-61.
Richter, C. F., 1958, *Elementary Seismology*, Freeman, Calif.

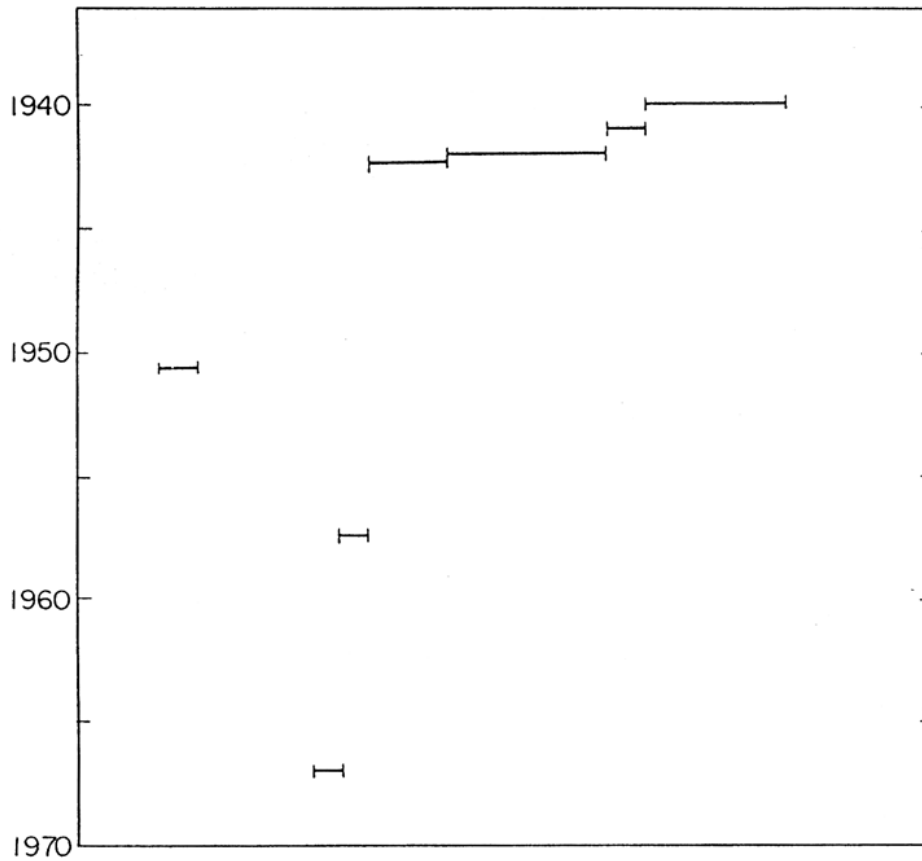
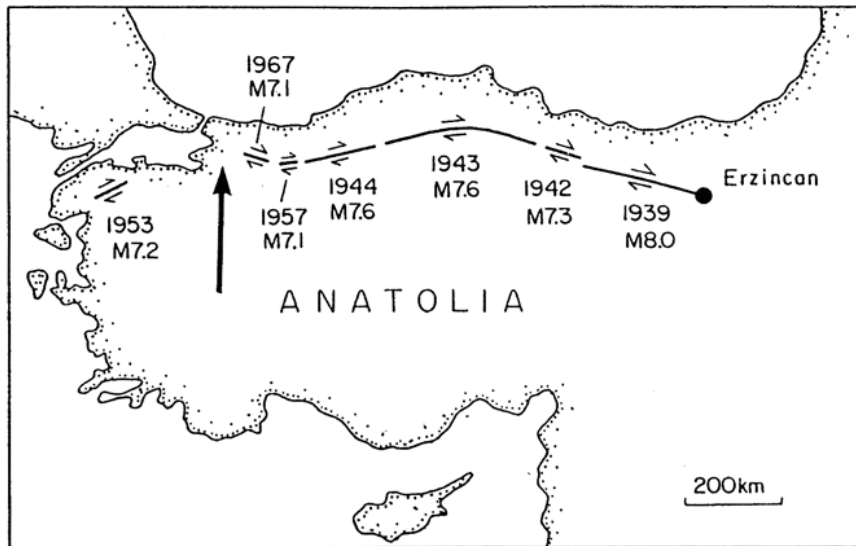


A Epicenters of earthquakes with magnitude 7 and over in Anatolia since 1939. Broken lines show simplified fault traces. (Mogi, 1968)



B Distances from the epicenter of the first great earthquake of December 26, 1939, in Anatolia to each epicenter of the following earthquakes along the fault system, as a function of time.

第 1 図 1939 年以降のアナトリア断層沿いの M7 以上の地震の震源の西方移動 (Mogi, 1968)。矢印は今回の地震の震源位置をさす。



Westward migration of seismic activity that occurred after the 1939 Erzincan earthquake (M 8.0) in Anatolia. (Mogi, 1993)

第2図 アナトリアにおける 1939 年のエルジンジャン地震後のM7 以上の地震の震源の西方移動 (Mogi,1993)。矢印は今回の地震の震源位置をさす。